

3. 幼児教育科 専門教育科目

1) 幼児教育科の教育目標

(1) 教育の基本方針

本学科が培ってきた養成教育の伝統を継承し、人間性豊かでこれからの社会にふさわしい保育者を養成する。そのために次の3つを基本方針とする。

- ① 本学の教育理念に基づき、他者への共感を大切に、人を愛し人につくす保育者を養成する。
- ② 子どもが育つ環境の課題に向けて、基本的な保育態度・技術を修得し、地域の子育てと子育てを支援する保育者を養成する。
- ③ 目指す保育に向けて、自ら学び自ら考え、互いの立場を尊重し協働する保育者を養成する。

(2) 教育目標

- ① 人を愛し人につくす保育者を指すため、地域社会に貢献する活動や様々な他者とつながり関わる活動を重視した養成教育を行う。
- ② 基本的な保育態度・知識・技術を修得するため、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格の取得の学修のほか、初年次教育、セミナー教育を重視した養成教育を行う。
- ③ 自己学習能力の育成や他者との積極的な協働に向けて、主体的学習や体験的・実践的学習を重視した養成教育を行う。

(3) ディプロマ・ポリシー（学位授与、卒業認定の基本方針）

- ① 幼稚園教諭二種免許状や保育士資格等の取得を通じて、今日の保育に求められる基礎的教養と倫理観をそなえ、保育の専門的知識と技能を修得している。
- ② 2年間の特色ある教育課程を通じて、自ら考え課題解決に向けて行動する力や、保育に必要な思考力・表現力・感性の基礎を修得している。
- ③ 専門教育のほか学園生活や課外活動等を通じて、保育者に必要な体験力や社会性、判断力とともに、他者を受容し他者と協働する力を修得している。

(4) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の基本方針）

- ① 幼稚園教諭二種免許状や保育士資格等の取得に必要な保育の専門教育と、今日の保育に求められる基礎的教養と倫理観に必要な教養教育をともに備えた教育課程を編成する。
- ② 自ら考え課題解決に向けて行動する力や、保育に必要な表現力・創造力・感性の基礎を修得するよう、学生の個性と能力を伸ばすコースを設定するとともに、学外実習や卒業研究セミナー、教職保育実践演習等を充実する。
- ③ 保育者に必要な体験力や人間関係力、学びの基礎力を修得するよう、入学前教育をはじめ、保育者セミナー等の初年次教育を充実する。
- ④ 保育者に必要な社会性や判断力、他者を受容し他者と協働する力の基礎を修得するよう、保育の専門教育のほか、学園生活や課外活動、社会貢献活動等の機会を充実する。

(5) アドミッション・ポリシー（学生の受け入れの基本方針）

幼児教育科では次のような学生を求める。

- ① 目標とする保育者に向けて強い意志と志望を持ち、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格等の取得に向けて意欲的に学修する学生。
- ② 保育の現場で求められる自ら考え行動する力や、表現力や創造力、感性を磨こうと自ら努力する学生。
- ③ 保育者に必要な学びに向かう力、人間力、社会性のために、積極的に地域貢献活動に参加し、他者とかわらうとする学生。
- ④ 子どもや保育への関心を持ち、子どもやその育ちの理解に向けて広い視野をもとうとする学生。

(6) アセスメント・ポリシー（学修成果の評価の基本方針）

本学のアセスメント・ポリシーを踏まえ、幼児教育科では、3つのポリシーに対応した学習成果の獲得状況について、P73に示す一覧表の評価指標に基づき検証・評価する。

入試実施状況や入学時のアンケート等、卒業要件の達成状況や単位の修得状況、成績状況、各種の資格・検定試験等の合格状況、進路状況等の評価指標と、幼児教育科が設定する「学習成果」に対応した独自の評価指標から量的・質的に検証・評価し、結果の傾向と推移を踏まえ、教育課程やFD活動等の改善に活用する。

(7) 学生支援の基本方針

- ① クラス担任および保育者セミナー、卒業研究セミナーの担当者との信頼関係を築きながら、充実した学園生活となるよう個別に支援する。
- ② 学科の行事やキャンパスアワー等を通じて、学生の自主性や主体性を伸ばし、協力・協同の重要性を学ぶ機会を提供する。
- ③ 社会貢献活動等を通じて、他者への共感や協働の重要性を学ぶ機会を提供する。
- ④ 日々の学習を振り返るポートフォリオや研修会等を通じて、学生の良さを伸ばす個別支援の機会を提供する。
- ⑤ 保育専門職への適切なキャリア形成を促し、学生の進路希望が実現するよう支援する。

2) 幼児教育科の学習成果

幼児教育科では、2012年度に設定した「学習成果」を2017年度に改訂し、新たに2018年度から各専門教育科目や学科の諸活動を通して、学習成果の獲得にむけた教育と支援を行っている。

(1) 6つの「学習成果」

幼児教育科は以下の6つの学習成果を定めている。このうち、Iは2年間の保育者養成を通じて獲得されるものであり、II～VIはどのような保育者になってほしいか、またその資質や力量について定めている。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> I 学生が目標とする幼稚園教諭二種免許状や保育士資格等を取得し、保育専門職に従事する。 II 本学の間人教育や保育の専門教育を通じて、保育と子育て支援を担うために必要な基礎的教養と倫理観、ならびに保育の専門的知識と技能を修得している。 III 各種実習や保育の専門教育を通じて、保育実践の場で必要となる思考力や課題解決能力、行動力の基礎を修得している。 IV 各種実習や保育の専門教育、学科の諸行事や活動等を通じて、保育実践の場で必要となる豊かな表現力や創造力、感性の基礎を修得している。 V 保育の専門教育科目や学科の諸行事や活動を通じて、保育実践の場で必要となる主体性や自己学習能力の基礎を修得している。 VI 本学の間人教育や様々な行事、学科の教育プログラムや地域貢献活動等を通じて、保育者に求められる基本的な体験力や人間関係力、ならびに他者との協働性の基礎を修得している。 |
|---|

(2) 学習成果Ⅱの「基礎的教養と倫理観、保育の専門的知識と技能」の要素

上記の学習成果のうち、Ⅱの「保育の専門的知識と技能」は、次の6つの要素から構成される。

- 保育の基礎的教養（現代的教養・社会的教養・倫理観）の修得
- 保育の原理・目的の理解
- 保育及び支援の対象の理解
- 保育内容や保育方法、具体的援助の方法の理解
- 保育に関する基礎的技能の獲得
- 上記のa～eに基づく保育の総合的実践力の基礎の獲得

(3) 3つのポリシーに対応した学習成果の評価指標

幼児教育科の3つのポリシーに対応した学習成果の評価指標

学習成果	A P	C P	D P	
	入学試験の実施状況 広報部新生アンケート 自分発見スタートセミナー のアンケート			
I		各セメスターの単位修得状況及びG P A 退学・休学、留年の状況 学生生活満足度調査（1年次終了時及び卒業時） 科全体の学生授業評価の結果 免許・資格取得希望者数、非取得希望者数	最終の単位修得状況及び G P Aの傾向 学位授与数、卒業率 免許資格等の取得率、就 職率、進学率 専門職就職率と内訳	
II		IIを獲得目標に挙げた科目群の単位認定・G P A IIを獲得目標に挙げた科目群の学生授業評価 5月静修会等の学生アンケート 保育・教職実践演習の実施状況、実習ポートフォリオ	卒業後アンケート 就職先アンケート 卒業生との懇談会の結果	
III		IIIを獲得目標に挙げた科目群の単位 認定・G P A IIIを獲得目標に挙げた科目群の学生 授業評価		教育・保育実習の 実習評価、実習 ポートフォリオ 卒研セミナー・清 泉フェスティバル の学生アンケート
IV		IVを獲得目標に挙げた科目群の単位 認定・G P A IVを獲得目標に挙げた科目群の学生 授業評価		
V		Vを獲得目標に挙げた科目群の単位認定・G P A Vを獲得目標に挙げた科目群の学生授業評価 保育者論ⅠⅡの実施状況と学生コメント 学科セミナーの学生アンケート		
VI		VIを獲得目標に挙げた科目群の単位認定・G P A VIを獲得目標に挙げた科目群の学生授業評価 「保育者になるための100の体験」の実施状況 表現発表会の学生アンケート ボランティア活動、キッズカルチャー等の実施状況		

(4) カリキュラム・マップ

獲得される学習成果について、具体的に専門教育科目や学科の諸活動がどの学習成果の指標をになうのかは、次のカリキュラム・マップに示されている。開設する専門教育科目と学科行事・活動ごとに、「学習成果」11の指標のうち、獲得を目指す学習成果を○（最重要指標は◎）で明示している。

(5) 科目ナンバリングの意味

ナンバリングの上3桁は、履修系統を示す

区 分	ナンバリング（上2桁）
保育の原理・目的	71
対象の理解	72
保育内容・方法	73
基礎的教養・技能	74
総合演習	75
実習	76
自主科目	77

ナンバリングの下1桁は、履修時期を示す

1年春学期	1
1年秋学期	2
2年春学期	3
2年秋学期	4

幼児教育科 学習成果を獲得するカリキュラム・マップ

以下のカリキュラムマップは、幼児教育科のディプロマ・ポリシーと学習成果の指標との関係、および専門教育科目等と学習成果の指標の関係を明らかにしている。◎は最重要の指標である。

幼児教育科のディプロマ・ポリシー

- ① 幼稚園二種免許状や保育士資格等の取得を通じて、今日の保育に求められる基礎的教養と倫理観をそなえ、保育の専門的知識と技能を修得している。
- ② 2年間の特色ある教育課程を通じて、自ら考え課題解決に向けて行動する力や、保育に必要な思考力・表現力・感性の基礎を修得している。
- ③ 専門教育のほか学園生活や課外活動等を通じて、保育者に必要な体験力や社会性、判断力とともに、他者を受容し他者と協働する力を修得している。

		ディプロマ・ポリシーとの関係	①	①	①	①	①	①	②	②	②	③	③
区分	ナンバリング	学習成果の指標	Ⅱ a 養・社会的 的教養・倫 理的教養 (現代的教 育観)の習 得	Ⅱ b 保育の原 理・目的の 理解	Ⅱ c 保育及び 支援の対 象の理解	Ⅱ d 保育内容 や保育方 法、具体 的援助の 方法の理 解	Ⅱ e 保育に 関する基 礎的技術 の獲得	Ⅱ f a s eに 基づく保 育の総合 的実践力 の基礎的 獲得	Ⅲ 力、保育 実践の思 考力や課 題解決能 力の基礎 的修得	Ⅳ 性の基礎 的修得 保育実践 の表現力 ・創造力 ・感性の 基礎的修 得	Ⅴ 力の基礎 的修得 保育実践 の主体性 や自己学 習能力の 基礎的修 得	Ⅵ a 保育者 の体験力 の基礎的 修得	Ⅵ b 保育者 の人間関 係力、他 者と協働 性の基礎 的修得
保育の原理・目的	71011	保育者論Ⅰ	◎								○	○	○
	71012	保育者論Ⅱ	◎								○	○	○
	71021	保育原理	○	◎									
	71023	教育基礎論	○	◎									
	71031	子ども家庭福祉	○	◎									
	71033	子ども家庭福祉Ⅱ				◎		○					
	71053	子ども家庭支援論		◎	○								
	71051	社会福祉		◎	○								
	71042	社会的養護Ⅰ	○	◎									
	71044	社会的養護Ⅲ		◎	○								
専門教育科目	72011	発達心理学			◎								
	72014	発達心理学Ⅱ			◎			○					
	72024	発達心理学Ⅲ			◎			○					
	72022	子ども家庭支援の心理学	○		◎								
	72052	子どもの理解と援助			◎	○		○					
	72023	臨床心理学			◎	○							
	72031	子どもの保健			◎	○							
	72033	子どもの保健Ⅱ			◎				○				
	72043	子どもの食と栄養			◎	○							
	72054	幼児理解と教育相談			◎	○							
72063	特別支援教育入門			○	◎								
保育内容・方法	73112	教育保育課程総論		○		◎							
	73032	保育内容総論		○		◎							
	73033	保育内容指導法		○		◎		○					
	73051	領域 健康				◎							
	73061	領域 人間関係			○	◎							
	73071	領域 環境			○	◎							
	73081	領域 言葉		○	○	◎							
	73091	領域 表現			○	◎				○			
73101	乳児保育Ⅰ			◎	○							○	

		ディプロマ・ポリシーとの関係	①	①	①	①	①	①	②	②	②	③	③
区分	ナンバリング	学習成果の指標	養II a ・社会的 的教養・ 倫理観） の習得	II b 保育の原 理・目的 の理解	II c 保育及び 支援の対 象の理解	援助II d の方法の 理解	得II e 保育に関 する基礎 的技術の 獲得	実践II f 力の基礎 の獲得	力III ・保育実 践の思考 力や課題 解決能 力の基礎 の修得	性IV の基礎の 修得	力V の基礎の 修得	VI a 保育者の 体験力の 基礎の修 得	のVI b 協働性の 基礎の修 得、他者 との
行事・諸活動	行事	学長・理事長講話	○										
		静修会（5月、クリスマス、卒業）	○						○		○		
		学科セミナー							○			○	○
		幼教表現発表会								○	○		◎
		キッズカルチャーExpo（遊び企画）						○	◎				○
		清泉フェスティバル							◎	○			○
	その他	保育者になるための100の体験							○		○	◎	
		海外文化研修	○						○			◎	
		地域・ボランティア活動							○		◎		○